

2021年度第3四半期 決算説明資料



2022年2月10日

M MITSUI E&S

三井E&Sホールディングス

2021年度 第3四半期 決算概要

◆ 受注高	4,329 億円	(前年同期比 ↑)
◆ 売上高	5,085 億円	(前年同期比 ↑)
◆ 経常利益	▲86 億円	(前年同期比 ↓)

2021年度 見通し

◆ 受注高	5,200 億円	(2Q発表見通し比 →)
◆ 売上高	5,900 億円	(2Q発表見通し比 ↓)
◆ 経常利益	▲230 億円	(2Q発表見通し比 ↓)

(単位：億円)

	20年度 3Q	21年度 3Q	増減
受注高	3,691	4,329	+638
売上高	4,847	5,085	+238
営業利益	▲51	▲94	▲43
(営業利益率)	(▲1.1%)	(▲1.9%)	-
経常利益	▲31	▲86	▲56
(経常利益率)	(▲0.6%)	(▲1.7%)	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲25	▲19	+6

<期中平均為替レート>

USドル	105.42円	112.18円
------	---------	---------

2021年度 第3四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	受注高			売上高		
	20年度 3Q	21年度 3Q	増減	20年度 3Q	21年度 3Q	増減
船舶	240	128	▲112	427	241	▲186
海洋 開発	1,782	2,707	+925	2,301	3,233	+932
機械	898	1,105	+207	1,118	1,076	▲42
エンジニア リング	183	15	▲167	287	69	▲218
その他	589	374	▲215	715	466	▲248
合計	3,691	4,329	+638	4,847	5,085	+238

2021年度 第3四半期 セグメント別決算概要

(単位：億円)

	営業利益			経常利益		
	20年度 3Q	21年度 3Q	増減	20年度 3Q	21年度 3Q	増減
船舶	▲23	▲2	+20	▲7	6	+13
海洋 開発	▲108	▲81	+27	▲70	▲50	+20
機械	55	36	▲19	57	38	▲18
エンジニア リング	11	▲54	▲65	8	▲59	▲67
その他	14	7	▲7	▲18	▲22	▲3
合計	▲51	▲94	▲43	▲31	▲86	▲56

■ 大型石炭火力発電所土木建築工事の状況

プロジェクト	地域	工事進捗率	
		21年度 2Q	21年度 3Q
1	インドネシア	約82.6%	約88.4%
	引当金残高 :	618億円	602億円
2	インドネシア	約99.8%	約100%

- 現場では適切な感染対策を取り、工事遂行中
- プロジェクト1は、19年度2Qに追加損失を計上した際の引当金の範囲内で推移

■ 2021年度 第3四半期に実施

- ・関係会社2社を「船舶」セグメントから「その他」セグメントへ異動

会社名	旧 セグメント	新 セグメント	異動事由
四国ドック	船舶	その他	2022年1月売却に伴い所管変更
TGE Marine Gas Engineering GmbH	船舶	その他	ガス関連エンジニアリングを全社で活用

影響額 「船舶」→「その他」

21年度 3 Q 受注高：101億円、売上高：84億円、営業利益：△14億円

20年度 3 Q 受注高：59億円、売上高：189億円、営業利益：△2億円

■ 2021年度 第4四半期から実施

- ・2021年11月に三井海洋開発の株式を一部売却し、持分が50.1%から49.1%に減少

➡ 連結子会社から持分法適用関連会社へ

「海洋開発」セグメントの取り扱いポイント

- ・3Qまでは従来通り、三井海洋開発を連結子会社として、受注高,売上高,営業利益,経常利益に計上
- ・4Qからは三井海洋開発を持分法適用関連会社として、当期純利益の49.1%を経常利益に計上

(単位：億円)

	前回見通し (2021/11/5)	今回見通し (2022/2/10)	増減
受注高	4,500~6,500	5,200	—
売上高	6,700	5,900	▲800
営業利益	▲40	▲40	—
経常利益	▲50	▲230	▲180
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲30	▲210	▲180
フリーCF	▲930	▲950	▲20
有利子負債	2,000	1,400	▲600

※ 前提為替レート US\$ = 110円

※ US\$ 1円の円高が営業利益に与える影響⇒約 1 億円の悪化

2021年度 セグメント別 業績通期見通し

(単位：億円)

	受注高			売上高		
	前回見通し (2021/11/5)	今回見通し (2022/2/10)	増減	前回見通し (2021/11/5)	今回見通し (2022/2/10)	増減
船舶	300	200	▲100	400	300	▲100
海洋 開発	2,000~ 4,000	2,700	—	4,000	3,200	▲800
機械	1,800	1,800	—	1,600	1,600	—
エンジニア リング	0	0	—	200	200	—
その他	400	500	+100	500	600	+100
合計	4,500~ 6,500	5,200	—	6,700	5,900	▲800

2021年度 セグメント別 業績通期見通し

(単位：億円)

	営業利益			経常利益		
	前回見通し (2021/11/5)	今回見通し (2022/2/10)	増減	前回見通し (2021/11/5)	今回見通し (2022/2/10)	増減
船舶	▲30	▲10	+20	▲20	0	+20
海洋 開発	▲80	▲80	－	▲50	▲230	▲180
機械	80	80	－	80	80	－
エンジニア リング	▲30	▲30	－	▲40	▲40	－
その他	20	0	▲20	▲20	▲40	▲20
合計	▲40	▲40	－	▲50	▲230	▲180

参考) 2021年度 第3四半期 連結損益計算書の概要

(単位：億円)

	20年度3Q	21年度3Q	増減	
売上高	4,847	5,085	+238	主にモデックのFPSO建造工事の進捗による増加
売上総利益	267	217	▲51	
販売費及び一般管理費	319	311	▲8	
営業損失 (▲)	▲51	▲94	▲43	主に外貨建て費用に係る為替の影響による減少
営業外収益	93	77	▲16	
営業外費用	73	70	▲3	
経常損失 (▲)	▲31	▲86	▲56	
特別利益	50	112	+62	三井E&S 環境エンジニアリング株式の売却などにより増加
特別損失	60	24	▲37	
税金等調整前、四半期純利益 又は四半期純損失 (▲)	▲41	3	+43	
法人税等合計	26	53	+28	
非支配株主に帰属する 四半期純損失 (▲)	▲41	▲31	+10	
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (▲)	▲25	▲19	+6	

参考) 2021年度 第3四半期 連結貸借対照表の概要

(単位：億円)

	20年度 4Q	21年度 3Q	増減	
資産合計	7,664	4,216	▲3,449	
現金及び預金	1,376	468	▲908	
受取手形、売掛金及び 契約資産	2,340	738	▲1,602	主にモデックが連結子会社から除外されたことによる減少
有形・無形固定資産	1,585	1,351	▲234	
投資その他の資産	1,288	911	▲377	
負債合計	6,705	3,394	▲3,311	
支払手形及び買掛金	2,152	488	▲1,664	主にモデックが連結子会社から除外されたことによる減少
前受金、契約負債	943	369	▲575	
受注工事損失引当金	770	622	▲149	
有利子負債	1,645	1,303	▲342	
純資産合計	959	821	▲138	
自己資本	675	731	+56	主に為替換算調整勘定の変動
自己資本比率	8.8%	17.3%		
ネットD/Eレシオ	0.4倍	1.1倍		

新造船受注内訳 (三井E&S造船)

(隻)

	受注	引渡	譲渡	受注残
一般商船	0	1	0	0
艦船・官公庁船	0	1	6	0
合計	0	2	6	0

船用ディーゼル機関 (三井E&Sマシナリー)

	20年度 3Q累計		21年度 3Q累計		21年度 見通し	
	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)	基数	馬力数 (万馬力)
受注	75	140	62	178	—	—
売上	113	251	92	208	—	—
受注残	59	133	38	91	—	—
生産実績	118	276	87	193	125	300



MITSUMI E&S

社会に人に信頼されるものづくり企業であり続けます

To continue working as a company trusted by society and individual through products and services we offer

本資料のうち、当社の業績見通し、目標、計画、戦略等には将来に関する記述が含まれております。これらは現時点で把握可能な情報に基づき当社が合理的に判断した見通しであり、既知、未知のリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、将来における当社の実際の業績または展開が大きく異なる可能性がございます。